

事業継続の取り組み (Business Continuity Management (BCM))

マテリアリティ設定の背景

大規模自然災害が発生し、事業活動に重大な影響を及ぼす緊急事態が発生しても、人命の安全を第一とした上で円滑に製品の供給を再開させ、企業の社会的責任を果たすことが求められます。「Global No.1部品メーカー」を目指すムラタにとって、グローバルで事業継続の取り組みを進めることは重要課題であると認識し、当マテリアリティを設定しました。

目指す姿

国内外事業所・工場において、BCM体制が構築され、災害への備えができていることを目指します。

BCMの基本方針

- 1 従業員および関係者の安全の確保、二次災害防止を第一に行動する。
- 2 生産復旧に全力を尽くすとともに、製品の市場への供給を途絶させない。
- 3 地域の一員として地域復旧を支援する。
- 4 必要な事前対策は、費用対効果を考慮したうえで着実に実施し、災害による資産の喪失を最小限にとどめて、生産再開を早める。
- 5 事業継続計画 (Business Continuity Plan (BCP)) を定期的あるいは事業環境の変化に合わせて見直すとともに、継続的な事業継続体制の改善を図る。
- 6 事業継続体制の整備は、経営陣の積極的なリーダーシップのもと、従業員が一丸となって取り組む。

事業継続計画 (BCP)

大規模な自然災害が起これば事業活動が長期間停止する危険性があります。ムラタでは「お客様に製品を安定供給する」という責任を果たすために、BCPを策定し、建物・生産設備の耐震性・安全性確保、通信・情報システムのバックアップ体制構築、在庫による供給の維持など、被害を最小限に抑え、事業を継続させる諸対策を実施しています。

資材調達においては、災害などのリスク発生時に調

達活動が停滞しないよう、資材の仕入先様の生産場所をデータベース化し、リスクを想定した初動対応体制および対応フローの策定を行うことにより、迅速な初動対応の実施に向けて取り組んでいます。また、重要資材については、安定調達の施策として、マルチベンダー化および仕入先様でのBCP対応状況の確認を行った上で、リスク発生時に想定される復旧期間を考慮した在庫の確保などの対策を進めています。

2020年度の取り組み内容

初動対応の実効性確認と継続的な改善、危機対応能力の向上とBCPの改善点把握のため、定期的に事業継続訓練を実施しています。

2020年度は危機対策本部のメンバーで、本사가被災するシナリオのもと、ワークショップ形式のBCP訓練を実施し、訓練結果を踏まえて本社BCPとBCM基本規定の改定を行いました。



訓練の様子

今後の取り組み

グローバルレベルで想定されるリスクに対応したBCM体制の整備を進め、ムラタの事業継続を阻害するリスクの未然防止、リスクが顕在化した場合の損失の最小化を図る必要があります。

そのためにムラタでは国内外事業所・工場において定期的な訓練などを通じてBCPの有効性を検証するなど自律的なBCM活動が実践されていること、およびグループ全体として市場への製品供給を継続するためのBCM体制が構築されていることを目標として対策に取り組んでいます。

また特に広範囲かつ甚大な被害が想定される南海トラフ地震に対する備えは重要な課題であると認識しており、部品メーカーとしての供給責任を果たすため、その対策を進めています。